

舞台映像 『イッシュョウガイ』

上映 + 脚本家：若林佑麻さん トークイベント

だれもが自分が望むような生き方ができる社会とは？

大阪に住む女子高校生・マユの家族は、一見ごく「ふつう」な家族。ある朝、母親が倒れ介護を必要とする「障害者」となり生活が一転。マユは体と心の性が一致しないことに悩むが理解されず、家を飛び出して東京へ。そこに登場する人々は、マユと同じような悩みを抱え、自分の生き方、社会的偏見をめぐって様々な立場から考えているが……。最後の最後に待っている意外な展開。緊張に満ちた作品です。

障害、偏見、差別とは何なのか？「ふつう」とは何なのか？

映像上映後に、本作の脚本を手がけ、俳優、ラジオ・パーソナリティなど幅広く活躍なさる若林佑麻さんをお迎えして、みなさんと一緒に考えたいと思います。

『イッシュョウガイ』について

脚本：若林佑麻

プロデュース：丸若薫

2017年製作/日本 配給：ニジーローモーチャー、アルミード

2018年7月 第27回レインボー・リール東京～東京国際レズビアン&ゲイ映画祭上映

日時：2019年11月9日（土） 14：00～17：00

（前半に舞台映像上映、後半にトークを行います）

場所：学習院大学西5号館B1教室

（入場無料・事前申込不要）

*受付で学生証を提示してください。

主催：学習院大学身体表象文化学会・共催：学習院大学文学会